

## 令和7年度 第4回中津川市総合計画審議会 議事要旨

### I 開催日時

令和7年（2025年）7月28日（月） 10:00～11:30

### II 開催場所

中津川市役所 4階 大会議室

### III 次第

#### 1 開 会

#### 2 議事

（1）将来都市像について

【資料1】、【資料2】

（2）前期基本計画における重点施策について

【資料3】

（3）まちづくりコンセプトについて

【資料4】

#### 3 その他

#### 4 閉会

### IV 議事要旨

#### <開会>

- ・令和7年度第4回中津川市総合計画審議会を開会

#### <資料確認>

- ・事務局より資料確認

#### <会長、あいさつ>

- ・会長よりあいさつ

#### <議事>

#### 協議事項 （1）将来都市像について

（事務局から説明）

（質疑）

#### 委員

・「ほどよいまち なかつがわ」（「くらすほどよいまち」「あそぶほどよいまち」、「はたらくほどよいまち」）という将来都市像に対して、資料1の「くらすほどよいまち」についての重点施策は子育て、教育あたりになるが、働くことに対しては重点施策に選ばれていないのはよいのか。

・また、コンセプトブックで「ワンダフルウッズ」と言っているのに、林業分野が重点化していないというのは、何もつながりがなく、これでよいのかと感じた。

#### 事務局

・「働く」については、重点施策の中では誘致、観光という分野が「働く」という点に関わると考えている。起業の推進や、企業誘致等も含めて、様々な誘致、働く場所等の強化をしていく。そのような部分から「働く」につながっていくと考えている。

・林業については、重点施策として最初の5年間で進めていく内容という中で、まず市の魅力を向上させる最初の一步として注視するものと考えた。

#### 委員

- ・将来都市像は、ビジョンやゴールみたいなものとして考えたらよいのか。

## 事務局

- ・このまちがどのような形になるとよいかというゴールに近いものだが、そのゴールのビジョンというようなニュアンスになる。このまちがどういった形になるとよいか、どこを目指していくかが目指すべき将来都市像ということになる。

## 委員

- ・いろいろな企業の理念、目的、ビジョンを考える際に、ビジョンの共有が大事であり、最近のトレンドはビジュアル化である。テキストベースで共有するよりも、どのようなイメージを持ってもらうかが大事である。このビジュアル化された時のイメージと下のイメージ図があまり繋がらないというのが率直なところである。もし「ほどよいまち なかつがわ」で行くのであれば、その要素も含めて、もうすこし整理した方がよい。また「ワンダフルウッズ」が僕はイメージだと思っており、新たな森のイメージで、そういうものの方がビジョンやゴールに近く、共有できるイメージだと思う。
- ・議論の対象とは違うかもしれないが、将来ビジョンは「ワンダフルウッズ」でよいのではないか。ただ、森というイメージが先行すると林業みたいな感じになるので、あくまでイメージ。言葉を変える必要があるかもしれないが、市民に対して、ビジュアルのイメージをいかに共有させるかを大事にしていきたい。

## 事務局

- ・策定する総合計画の将来都市像が「ほどよいまち なかつがわ」となれば、今後10年間で目指す将来のイメージは「ほどよいまち なかつがわ」となる。

ただし、さらにその先にある中津川市のビジョンやイメージ的な部分について、イメージを共有するための道具として「ワンダフルウッズ」という別冊のコンセプトブックを使い分けていきたいと考えている。

## 委員

- ・二つあると分かりづらいという印象を受ける。

## 委員

- ・「ほどよいまち なかつがわ」が市民から選ばれたものであり、将来都市像はこれでいくという考えであれば審議対象から外してはどうか。
- ・資料のイメージ図の中に「ほどよい」とは一言も書いていないし、ど真ん中に書かれているのが「笑顔」と「ワクワク」である。それならば、「笑顔とワクワクのまち中津川」でよいのではないか。
- ・長い説明をつけないと理解してもらえない可能性がある将来都市像の了承を求めていると取れる。「ワンダフルウッズ」が将来都市像であってしかるべきであり、そうでなければこの構図が成り立たないように感じる。
- ・「ほどよいまち なかつがわ」を将来都市像として定め、それとは別で、審議対象外として「ワンダフルウッズ」が伴走すると言われても、なぜ「ワンダフルウッズ」が将来都市像になり得ないのかわからない。

## 事務局

- ・この案で進めることを決定しているというのではなく、案について審議会からご意見をいただきたいと考えている。
- ・「ワンダフルウッズ」を将来都市像にという意見があったが、コンセプトブックは、遠い将来のイメージを共有するものとして作ってきた経緯がある。今回指摘されているが、「ワンダフルウッズ」は、総合計画の基本構想の将来都市像として、時間軸も含めて足りない部分や、少しそぐわない部分がある。計画期間を持った将来のまちの姿という観点で、市民投票にかけたことも踏まえ、前回会議で示した三案から選出したいと考えて示した。
- ・資料のイメージ図は、「ほどよいまち なかつがわ」を含む、各種案を募集する時に基と

なった図である。「ひとづくり、地域づくり、安心づくり」という点から、「絆、未来、持続可能性」というようにつながり、最終的に「笑顔、ワクワク」につながるという流れであり、そのイメージを基に将来都市像の案を作成している。

- ・「笑顔、ワクワク」について、笑顔や幸福が「ちょうどよい」、「ほどよい」という表現につながっている。また、「暮らせば暮らすほど」、「遊べば遊ぶほど」、「働けば働くほど」といったところが未来へのワクワク、期待感につながっている。直接的ではないが、その趣旨はこの中に含まれていると考えている。

## 委員

- ・今後「ほどよいまち なかつがわ」と書かれた場合、ここまで説明しないと誤解を招くと考ええる。

## 副会長

- ・このイメージ図をベースに出てきた案が、この「ほどよいまち」ということでよいと思う。イコールで考えるとイメージ図の中になぜ「ほどよい」がないのかという疑問が出てくるので、その辺を皆様の意見で訂正ができるとよいと思う。

- ・「ワンダフルウッズ」を将来都市像とした方がよいとの皆様からの意見は、行政として新しいことを試みている結果であると思う。しかし、行政としては市民からいただいた意見をアンケートした以上は、それを一つの土台にしていかなければならないということは、理解できる。

## 会長

- ・見せ方、イメージの持たせ方というところにまだ工夫が必要である。将来都市像が決まっても、イメージ図をどう変えていくのかも含め、また将来都市像を市民に共有するにあたり、どのような見せ方がよいのか、ロゴなどによる工夫や、配置の工夫などもしていただきたい。

- ・併記形式の「ワンダフルウッズ」についても、委員から意見があったことも入れながら、市で検討していただきたいと思う。

- ・また、次回に対応案等も提示することをお願いしたいと思う。議事 1 についてはこのような形でよろしいか。

- ・それでは、議事 2 の説明に入らせていただく。

## 協議事項 (2) 前期基本計画における重点施策について

(事務局から説明)

(質疑)

## 委員

- ・重点施策として選ばれたものに対して、その努力的な目標や投資的な予算、どれぐらいの差を持ってやっていくかが具体的にわかると重点を本気でやるとわかる。重点的でやると決めたのはよいが、なぜここが重点なのかという説明を全部やってこそ、将来像、未来像に繋がる。

- ・観光の部分で、書かれている内容としてはその通りだが、そこから次へ入っていきいたいという思いもあるので、行政としてこの案を重点施策としてあげた段階で、どれぐらいの規模と考えているか。

## 事務局

- ・総合計画の基本構想・基本計画に、予算規模等は記述しないので、どれぐらいの規模等は掲載しないが、重点施策が案のとおり固まれば、その後、実施計画として予算等を含む計画を立てていく。その段階で、重点的な扱いとして考えることになる。

## 会長

- ・市で優先的に予算配分するとか、枠があるとかいうわけではないのか。

## 事務局

・明確にこの枠というものは持っていないが、総合計画の重点政策として定める以上は、何らかの形で求めていきたい。

## 会長

・関連しているところが重点として入っているところ、入っていないところもあると思う。この主な取り組みの濃度が、このぐらいの表記でよいのか、もう少し具体的な方がよいのか見当が必要である。目指す姿のところは、抽象度が高い形で書かれているので、こういったことを入れた方が市民にとってわかりやすいのではないかという意見も含めて、その通りと思う。

## 委員

・子育ての分野の一つ目の「地域や地元企業など様々な人と協働し」の部分がしっかりこない。内容を見ると教育というイメージを持たれる内容なので、教育と子育てで同じ大きなくくりとしているところがあるが、この違いを聞かせていただきたい。

## 事務局

・教育と子育ての部分は、密接不可分でもあると思う。特に子育て世帯への支援、環境の整備という部分含め、地域、地元企業との協働という部分も重要との考えで、目指す姿で書かせていただいた。

・別に関連してくるのが教育で、大きい分野としては子育て・教育になるが、子育てで力を入れていく点と教育で力を入れていく点で、魅力あるまちにしていこうと考えている。

## 委員

・子育てはもっと包括した内容であげた方が分かりやすい。それで重点施策がまとめられるなら、もう少し違うところも追加できるのではないか。今ここに6個ある中で、まだ政策のうちで重点施策になっていないものが3番から7番までであるということもあるので、前半はこういった重点施策をして、後半はこういったところを目指すということも見せながら、なぜここを最初に重点施策にするのかを見せてもらえると、もっと長い、広い視野で考えられると思う。資料の追加やまとめられるものはまとめて、きちんとした線引きをしっかりと項目を分け、施策を考えていただけるとよい。

## 事務局

・総合計画の前期の5年間での重点施策になるので、前期が終了すると後期の重点施策で検討していく形になる。その時に重点的にやるのは引き続き同じかもしれないし、違うものになってくるかもしれない。前期と後期という部分に向けては、説明等でまた加えていきたい。その際に将来を見据えた進め方を入れていきたいと思う。

## 委員

・市民にこれを重点的にやると理解してもらうことが計画を立てる上で大事だと思うので、ぜひ中津川市らしいところに積極的に予算をつけたとか、市民の目に触れるところでアピールしてほしい。これを中津川市は重点的にやっているということが、市民によく理解してもらえるようなものにしてほしい。

・リニア整備についても、やむなく取り組んだことなのか、中津川市が重点的にやったことなのかという違いが市民に伝わればよいと思う。将来都市像を「ほどよいまち なかつがわ」にするのであれば、例えば、木育の授業をする場合に、子どもたちにも「木育するほどよいまち なかつがわ」として、市がこういう事業を推進しているから、木育の先生たちが学校に来るとか、医療でも「医療現場が整うほどよいまち なかつがわ」というように、いろんなところでそのビジョンを市民に、重点的にやっていることをアピールしながら、この計画を進めていって、市民にここに力を入れているということを、なるべく理解してもらえるような進め方をしてほしい。

## 事務局

・大変重要な観点だと思う。中津川市として重点的にやったとしても、知られていない、理解されていない等その部分が伝わらなければいけないので、しっかりとアピールして、これをやっている、という部分を広くお知らせしていきたい。

## 委員

・先ほど目指すところの項目が抽象的になってしまうという話があった。これを仮に重点施策にしても、結局抽象的になってしまう。このまちをよりよくするとか、人に来てもらうとかは地域間競争で、他の行政はライバルで、競合他社みたいな状態である。するとより具体的に、例えば子育てなどのよい施策を打っているところをターゲットにして、重点になるなら、それを超えていかなければならないというような書き方が必要だと思う。

・総合計画の枠組み自体にもかかってくるかもしれないが、比較対象として、他の行政を超えていくような枠を一個追加して、ここは超えていくとの書き方をしたらどうか。先ほどから話し合っている「ワンダフルウッズ」とこの「ほどよいまち なかつがわ」のつながりから、一番上に何十年も先に向かっている「ワンダフルウッズ」があり、それを少し噛み砕いて説明すると「くらすほど よいまち」、「はたらくほど よいまち」、「あそぶほど よいまち」という将来像がある。例えば「よりよいまち なかつがわ」があり、他の市よりもよいまちのようにすると、もう少しわかりやすいのではないか。

## 事務局

・他市等との比較は、この中で記述するのに適しているかを含め、検討させていただきたい。

## 委員

・自然という言葉が非常にたくさん出てくる。この自然環境をどうやって維持していくかについて、重点になっていないのが、全て都会化されて中津川の良さがなくなるというところにもつながると思う。自然環境とか農業とか林業、この辺ももう少し中津川の基盤産業として残せるような重点施策を打ち出していくと、他とは違うというところが出てくるのではないか。

## 事務局

・自然環境や農業、林業等について、当然重要な分野であると捉えており、さまざまな検討を行ってきた。そのなかで、まずは市の魅力をさらに上げて、各種人口増加につなげていくという点を、この 5 年間取り組んでいく第一歩という形で考えたものになる。今後の検討事項としても考えていきたいが、重点施策をあまり広げすぎると、逆に重点として薄れてしまうというところもあるので、その点のバランスを考えながら検討できればと思う。

## 委員

・教育分野が目指す姿に書いてある通り、規模適正化とか、なかなか学校に行けない子に対する環境を整えるとか、基礎学力の向上とか、そういうところで教育委員会も頑張っているの、そこをピックアップしてもらえたのがすごく嬉しいし、ますます頑張らないといけない。今後5年間でますます頑張れるように、みんなで意見共有しようと思う。

## 委員

・重点施策 6 点に載っているが、将来の都市像の「くらすほど よいまち、あそぶほど よいまち、はたらくほど よいまち」、これがどこにつながっているか教えてほしい。

・将来都市像からいくと、例えば資料 1 の都市計画とかは重点施策になるのではと考える。

## 事務局

・基本施策は 35 項目あるが、これが全て基本的には将来都市像に向けたところでつながっていると考えている。その中で重点的に取り組むものということで重視したものになる。子育て、教育、それから健康という部分では、「暮らす」という部分が強く、観光やリニアと

いう部分では「遊ぶ」につながり、誘致、観光、リニアという部分では「働く」がつながってくると考える。明確にこの分野はこれだけという話ではなくて、様々な要素がつながりながら、将来都市像に向けていくものと考えている。

## 委員

・観光では、主な取り組みも目指す姿の中にも「持続可能」という言葉が入っている。将来都市像にも「持続可能」という言葉が入っているが、「持続可能」と書いてあるのは観光だけで、他の子育て、教育などに記載がない。観光だけなぜ「持続可能」という言葉を使って書かれているのか。誰が持続可能なのか、行政がお金を払い続けるという持続可能なのか。持続可能という意味を確認したい。

## 事務局

・他の分野も当然、持続可能という観点は持っている。持続可能は他の分野も含めて、重要な観点と考えているが、観光で特に持続可能というのは、観光産業として自立的に持続ができていくという部分が重要な点と考えているからである。

## 委員

・持続可能な観光関連産業は、単純に下呂温泉なら温泉が湧いて宿をつくったら勝手に回っていくだろう。これは単純明解その通りで、中津川市ではこれができていないから観光が薄い。観光地になりきれない、何を売るかというのもわからないというのが、中津川の観光の現状である。

・ひと・まちテラスを建てる時、スマートインターを設置するとき、すべて観光という言葉を使っているが、実際に観光はやらない。スマートインターも馬籠という名を使わず、神坂スマートインターという名前前で用意された。持続可能とは、持続可能な状態まで持っていけない限り、持続可能にはならない。そこを持続可能な状態に持っていくために重点施策にあげているということであれば理解はできる。

## 事務局

・観光で特に持続可能と書いた大きい理由は、委員からのご意見の通り、中津川市の観光の持続性、具体的には消費額、お金を落とす観光というのはどうしても弱いとヒアリングで示された点がある。観光において目標値を観光消費額として、そちらをしっかりと見ていって持続可能にしていくという観点が、課題の裏返しとして出ているところがある。その意図で持続可能という言葉を入れているので、観光消費額を目標値として特に重点的にこちらに取り組んでいきたい。

## 会長

・オーバーツーリズム対策とか、地域の住民たちの対策も含めて考えていくことかと考えていた。観光産業の技術的な発展ということもあるだろうが、それも市としては考えているから、ここに入れたのではないのかと思っていたが、どちらかというと、それよりも産業の消費額を目標値として掲げていくイメージでよいか。主な取り組みの書き方の問題だと思う。やはり捉える人によっていろいろ違ってくると思う。

## 事務局

・オーバーツーリズムは最近では特に付知峡の問題もあり、オーバーツーリズムで圧迫してしまっている状態では消費も上がらないし、来客数も頭打ちになってしまう。それも含めて持続可能という表現になっている。

・持続可能としていくには、住民との調和がとても重要な観点になる。「持続可能」この一言でも、複数の意味が込められており、この場で全てを説明できないが、可能な限りこの文章で表せるように、また、文章で表せなくても指標、目標値を達成した時にはそれができているというように形を整えたい。

## 委員

・よく論議で出るのは、防災である。この防災・防犯という項目は重点施策にはないが、これからどういう形で重点施策としてまとめていくのか、あるいはどういう形でコンセプトを持って広報していくのかというあたりが少々見えないので、なぜこの重点施策を選んだのかと疑問である。

・もう一つは防災・防犯のところで、防災に関する情報の伝達や緊急時に避難できるインフラ整備などが目指す姿に載っているが、今、避難所の取り組みをしてほしいという声がある。学校の体育館などの避難所となる公共施設で、非常用発電、あるいは充電機能、冷房、Wi-fiをつけてほしいというような意見があり、これからは必要ではないかという話はある。取り組み内容にはそのあたりの話が具体的には全く載っていないので、少し再考していただきたい。

## 事務局

・防災については、地域でも話がたくさん出ている部分かと思う。今回、重点政策として分野をあげていないが、取り組みとしては大事なことを考えている。重点政策として抽出をするにあたり、基本的に将来都市像の実現に向けた市の魅力の向上を目的とし、暮らす、遊ぶ、働くという部分での組み立てを重点的にしている。抽出した6分野は前期 5 年間の案としており、これを動かしていく中で、後期に向けてどのように検討をしていくのかというところもあると思う。詳しい内容は、主な取り組み等を、記載の仕方も含め、工夫して分かりやすくできるようにしていきたい。

## 委員

・持続可能な観光の推進について、私は持続可能なというところで、いわゆる受け入れ態勢の強化になると思った。特に中津川市は、馬籠を訪れるインバウンドが非常に増えているところで、バスで運べる人員には限りがあり、いろいろと対策も考えているが、そういう意味では、消費額を増やすというところでもあっても、やはりオーバーツーリズム対策というところをいろいろ考えないといけないと思う。

・誘致のところで、リニア関係の誘致もあるが、それ以外にも観光関係、特に中津川市は宿が少なく、宿泊するところがないので、馬籠や市内を巡っても市外に泊まるということもある。そのあたりも含めた観光に関する誘致も加えてもらえるとういと思う。インバウンドは、今年度上期が昨年から 2 割ほど訪日客が増えているところもある。今回の総合計画の期間に入るが、国の目標は 2030 年度に 6,000 万人ということで、昨年度が 3,800 万人強なので、1.6 倍の訪日客が来るという計算になる。受け入れる体制も計画の中に入れられると、観光等も含めて、中津川市内での消費も増えると思う。

・リニアのところで、リニア岐阜県駅周辺の整備で、リニア駅に限ったところが記載されているが、今後、リニア駅周辺のみが整備されていくと、中心市街地が空洞化してしまうということも危惧されるため、リニア岐阜県駅とあわせて中心市街地も整備できるような施策を検討していただけるとありがたい。

## 事務局

・いただいたご意見を踏まえ、検討を進めていきたい。

## 委員

・前回、都市計画の話があり、今後 10 年間の計画で、都市計画法による様々な面整備だとか街路だとか、そういうものは想定されているものと思う。そのことが今回はまるでない。都市計画の用途は人口減少で難しいかもしれないが、できそうな用途配置、特に坂本周辺では絶対に必要になってくるということと、街路についても記載がない。市民としては病院と駅をつなぐ街路、これがやはり本筋だと思う。また、坂本地域は開発規制がないので、そういうことも含めて、目標をきちんと記載すべきではないか。どこまでどのような整備をするのかということもある程度明確にするべきだと思う。岐阜県が作っている濃飛横断自動車道も、何年ぐらいに供用できるのか、そういうことも市民の疑問に答えていくようなハードのコンセプトが必要だと思う。

## 事務局

・この総合計画は都市計画も含んだ計画になるが、都市計画は同じく令和 9 年度からの都市計画マスタープランの策定を今まさに進めようとしているところで、用途や街路、開発規制も含めた具体的な計画は、都市計画マスタープランの方で定めていきたい。

## 委員

・観光のところで、指標として入込客数とか消費額という点が触れられたが、この目指す姿の中で、自然、歴史、文化、食などの地域の魅力を活用とある。観光も今ある中津川の伝統文化、文化財、建物、街並みを保存継承するというのが非常に難しくなってきた、人口減少によって地域の力を弱まっているので、観光にはそういうところも重要なことになっているというところを、触れてもらえるとよい。

## 事務局

・自然、歴史、文化、食なども、考え方としては、重要な点と考えている。検討をさせていただく。

## 会長

・重点という言葉で、分かりづらいところがあると思う。最初に配ってもらったアンケート調査結果で見ると、重点維持分野と重点改善分野という分けがされていた。今回の重点施策は、改善を目指しているところ、自然環境とか防災は重点で維持していくところだから、この中では扱っていないという説明が必要だと思う。重点で維持していくところと、より将来都市像や市の魅力を向上するために、改善していくところの重点施策としてあげられているということがわかる。それから、よりよくしていくために、こういったことを考えていくということとか、主な取り組みのところでもう少し具体的にしていけるとよい。

・委員からは、最初の将来都市像との関連みたいなものが、主な取り組みの中で見えると市民にはわかりやすいのではないかという話もあったので、もう一度、少し整理してもらって調整をお願いしたい。私の意見だが、主な取り組みではなく、ほどよい取り組みとか、何かそういう将来都市像と結びつく取り組みをここに入れていくというような工夫をすると、将来都市像とこの重点施策がうまく結びついていく。主な取り組みなので、特徴的なことを出していったらよいのではないかと、委員の皆様の意見を伺って思った。実施計画のところまで具体化していった中で、ここに載せていこうとの話になるかという想像はするが、重点施策の見せ方や内容も含めて、意見の中で修正等をお願いできればと思う。

・他にないようなので、いただいた意見等については、事務局で検討するものとし、次の議事 3 に移らせていただく。

## 協議事項 3) まちづくりコンセプトについて

(事務局から説明)

(質疑)

・なし

### <その他>

・次回の日程は、8/26(火) 14 時より会議棟 2 階の第 2 会議室で実施予定。計画書の内容を固めて、会議後に計画書をパブリックコメントにかける予定。

・最後の会議は、10/23(木) 16 時より市役所 4 階の大会議室で実施予定。計画書を市長へ答申する予定で、会議には市長も参加予定。

・意見の用紙については、8 月 6 日までをお願いしたい。

### <閉会>

・令和 7 年度第 4 回中津川市総合計画審議会を閉会

以上